

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和8年9月18日時点

	開催日時	開催形式（場所）	名称
1	9月19日(土) 13:00～16:30	オンライン開催	公開シンポジウム「AI 時代、未来は誰にとって公平か？—高校生と考えるジェンダー・マイノリティ・進路—」
2	9月19日(土) 13:30～16:30	ハイブリッド (関西大学梅田キャンパス)	公開シンポジウム「ビジネス人材のリカレント教育の現状と課題」
3	9月24日(木) 10:00～17:10	ハイブリッド (日本学術会議講堂)	公開シンポジウム「更なる劇的進化を続ける生成AI の現状を理解しよう！」
4	9月26日(土) 10:00～16:00	日本学術会議講堂	公開シンポジウム「第34回脳の世紀シンポジウム『脳と生成AI』」
5	9月26日(土) 13:00～16:30	東京大学農学部中島 董一郎記念ホール	公開シンポジウム「観光・科学・野生動物保全をつなぐーThe Tourist Scientist Project の挑戦ー」
6	9月26日(土) 13:00～17:30	ハイブリッド (日本学術会議会議室)	公開シンポジウム「農学が創る未来：緑の革命3.0」
7	9月27日(日) 13:00～17:00	ハイブリッド (京都大学国際科学 イノベーション棟)	近畿地区会議学術講演会「サイエンスとアートが拓く新たな知—教育・共創・デジタル技術の最前線—」
8	9月27日(日) 13:00～15:30	ハイブリッド(明治 大学駿河台キャンパス)	公開シンポジウム「サービス化社会における共創価値尺度」
9	9月27日(日) 13:00～16:00	オンライン開催	公開シンポジウム「フューチャー・アースの推進と連携：Future Earth Japan Report 2026 へ向けた学術的課題の個別・横断的な整理」
10	9月27日(日) 13:00～18:05	ハイブリッド (日本学術会議講堂)	公開シンポジウム「生命科学データのオープンな流通・活用の再構築—AI時代のデータ共有とガバナンスを考える—」
11	9月27日(日) 13:15～15:15	サンシャインシティ 会議室	公開シンポジウム「公認心理師の国家的活用の在り方～職域の拡大と技量向上の責務」

12	9月28日(月) 13:00～17:30	ハイブリッド (日本学術会議講 堂)	公開シンポジウム「現代社会における多様なリス クに対処する法とガバナンスのあり方」
13	9月30日(水) 13:00～17:00	オンライン開催	公開シンポジウム「環境問題の解決と持続的水産 業の両立を目指すブルーエコノミー ―気候変動 対策を組み込んだ新たな水産業への科学的貢献を 探る―」
14	10月15日(木) 15:45～17:15	ハイブリッド (パシフィコ横浜国 立大ホール)	公開シンポジウム「デジタル・AI が拓くスマー ト歯科医学・歯科医療の未来」
15	10月17日(土) 12:30～14:00	オンライン開催	公開シンポジウム「第21回防災学術連携シンポジ ウム『地域における災害対応力をどう高める か』」
16	10月18日(日) 13:00～16:00	ハイブリッド (日本学術会議講 堂)	学術フォーラム「脳の健康(ブレインヘルス)と 社会的レジリエンス―S7.2026を契機とした精 神・神経疾患の統合的理解、AI・オミックス解 析、精密医療への展開―」
17	10月24日(土) 13:00～17:00	ハイブリッド (一橋大学)	公開シンポジウム「歴史教育シンポジウム／高校 歴史教育改革を大学教養教育にどうつなげるか」
18	10月25日(日) 13:00～17:00	ハイブリッド (東京大学本郷キャンパス)	公開シンポジウム「今に生きる・活かす古典を考 える―倫理・道徳教育における古典活用の可能 性」
19	10月25日(日) 13:30～17:00	ハイブリッド (奈良女子大学)	公開シンポジウム「文化財の未来をつくるのは誰 か～SDGs、地域、防災、キャリア～」

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。



公開シンポジウム

AI時代、 未来は誰にとって公平か？

—高校生と考えるジェンダー・マイノリティ・進路

2026. **9.19** (土) 13:00~16:30

オンライン開催 (zoom)

【参加費】

無料 (事前申込制)

【対 象】

高校生・保護者・教員・一般

【お申込】

要参加登録 (無料)、定員1,000名

裏面のQRコードまたはURLから、お申込みください

(申込締切：9月12日 (土)、定員になり次第締切)



主催

日本学術会議 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会／科学者委員会 ジェンダー・エクイティ分科会／法学委員会 社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会／健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会

共催

早稲田大学規範科学総合研究所、北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、科学技術振興機構 (JST)

後援

日本生命科学アカデミー、一般社団法人男女共同参画学協会連絡会、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS)、教育関連学会連絡協議会、日本学術振興会 (JSPS)、早稲田大学ダイバーシティ推進室

公開シンポジウム

AI時代、未来は誰にとって公平か？

—高校生と考えるジェンダー・マイノリティ・進路—

生成AIの急速な普及により、私たちの学びや進路選択、社会参加のあり方は大きく変化しつつあります。一方で、AIは既存社会の価値観や偏見を学習するため、ジェンダーやマイノリティに対するバイアスを再生産・増幅する可能性も指摘されています。とりわけ高校生の進路選択や教育現場において、AIが助言や意思決定に関わる機会が増える中、「公平な進路」とは何かを改めて問い直す必要があります。

本シンポジウムでは、AI社会を俯瞰する研究者、教育実践者、政策・ジェンダー研究の専門家とともに、高校生・教員を主な対象として、AI時代の公正さと市民教育のあり方について考えます。誰も取り残さない未来を実現するために、今私たちに求められる視点と行動を議論します。

■ お申込みはこちらから ■

右記QRコードまたは下記URLから、お申込みください。

申込締切：9月12日（土） ※定員になり次第締切

<https://forms.gle/SHLR3qbwPCJhZZ6F7>



プログラム

- 13:00 **開会挨拶**
樋田 京子（日本学術会議第二部会員／北海道大学大学院歯学研究科・教授）
- 13:05 **趣旨説明**
坂内 博子（日本学術会議連携会員／早稲田大学理工学術院・教授）
- **第一部 AI時代をどう生きる？－AIと公平性(fairness)を考える**
- 13:15 **AIは中立か？－進路を選ぶときのつきあい方－**
森田 久美子（NPO法人Waffle・ディレクター）
- 13:35 **質疑応答**
- 13:55 **（休憩）**
- **第二部 公正なキャリア形成に向けて－AI時代のバイアス**
司会：東原 和成（日本学術会議連携会員／東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）
- 14:10 **キャリア選択とステレオタイプ－公正な社会を実現する手段とは？**
三浦 まり（日本学術会議連携会員／上智大学大学院法学部・教授）
- 14:30 **AIは「公平」ではないが、その原因は私たちかもしれない**
－公平性(fairness)と社会のルールを考える
佐倉 統（実践女子大学人間社会学部・教授／東京大学・名誉教授）
- 14:50 **AI研究は誰がつくるのか？－ダイバーシティが公正な未来を左右する**
伊藤 貴之（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科・教授）
- 15:10 **（休憩）**
- **第三部 総合討論**
- 15:25 **AI時代に、公正な未来はつくれるか？－「自分らしい進路」を守るために**
モデレーター：來田 享子（日本学術会議連携会員／中京大学スポーツ科学部・教授）・坂内博子
登壇者：行木 陽子（中央大学商学部・特任教授／㈱足利銀行・社外取締役／㈱平和堂・社外取締役）
第一部、第二部の登壇者
- 16:25 **閉会挨拶**
竹山 春子（日本学術会議第二部会員／早稲田大学理工学術院・教授）

お問合せ

早稲田大学理工学術院 坂内博子

hiroko.bannai * waseda.jp （送信の際は * を@に変更してください。）

ビジネス人材のリカレント教育の現状と課題



令和8年9月19日（土） 13:30～16:30

📍 ハイブリッド開催：関西大学梅田キャンパス（大阪府大阪市北区鶴野町1-5）8Fホール

🔔 挨拶

- 🔔 13:30 開会の挨拶：森田 雅也（日本学術会議連携会員／関西大学社会学部教授）
共催の挨拶：西尾チヅル（経営関連学会協議会理事長／日本学術会議連携会員／筑波大学副学長）
後援の挨拶：高橋 智幸（関西大学学長）

① 第1部 セッション「大学が提供するビジネス人材のリカレント教育」

◇司会：櫻田涼子（日本学術会議連携会員／甲南大学経営学部教授）

- 🕒 13:40 趣旨説明：司会
🕒 13:45 報告1：「横浜国立大学のリカレント教育：YBSを中心として」
二神枝保（日本学術会議連携会員／横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）
🕒 14:00 報告2：「神戸大学におけるリカレント教育の現状と課題」
上林憲雄（日本学術会議連携会員／神戸大学大学院経営学研究科教授）
🕒 14:15 報告3：「関西大学の社会人学び直し教育の現状と課題」
高屋定美（日本学術会議連携会員／関西大学商学部教授）
🕒 14:30 質疑応答とまとめ：司会

休憩（15分）（14:40～14:55）

② 第2部 パネルディスカッション「ビジネス人材のリカレント教育の課題、これから」

◇ファシリテーター：原 拓志（日本学術会議第一部会員／関西大学商学部教授）

- 🕒 14:55 趣旨説明：ファシリテーター
🕒 15:00 総合討論

👥 パネリスト：

- 👤 酒井香世子（損害保険ジャパン株式会社 専務執行役員 CCuO CSuO）
👤 辻村 明広（田辺ファーマ株式会社 代表取締役社長 執行役員 COO）
👤 廣田 雅美（大阪商工会議所人材開発部 大阪企業家ミュージアム シニアコーディネーター）
👤 内田 浩史（日本学術会議連携会員／神戸大学大学院経営学研究科教授）
👤 原 良憲（日本学術会議連携会員／大阪成蹊大学データサイエンス学部教授）
👤 二神 枝保（日本学術会議連携会員／横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）

- 🔔 16:25 閉会の挨拶：森田雅也（日本学術会議連携会員／関西大学社会学部教授）

主催：日本学術会議経営学委員会 ビジネス人材のリカレント教育に関する分科会
共催：経営関連学会協議会 後援：関西大学

📄 要事前申込・参加無料

<https://forms.gle/ngjvTjTTvhr3VVAf9>



🗨️ こちらからもお申し込み可能です
参加登録期限：令和8年9月15日（火）

✉️ 連絡先メールアドレス：recurrent.sympo2026@gmail.com

日本学術会議 公開シンポジウム

更なる劇的進化を続ける

生成AIの現状を理解しよう！

2026年9月24日 (木) 10:00-17:10

日本学術会議講堂（港区六本木7-22-34）およびオンライン配信 参加無料

主催：日本学術会議情報学委員会、情報学委員会ITの生む諸課題検討分科会

共催：大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

後援：大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

（予定）一般社団法人情報処理学会、一般社団法人電子情報通信学会

参加登録はこちら



参加申し込みフォーム

URL

<https://sites.google.com/view/scjinfoit/イベント2026>

ITの生む諸課題検討分科会事務局
scj.infoit@gmail.com

生成AIは学術・産業・教育・医療・日常生活まで社会のあらゆる領域に影響を及ぼしつつあります。過去2回の高い反響を得たシンポジウムに続き、日進月歩で進化する生成AIの最新動向を、多様な分野の専門家による講演とパネル討論を通じて多角的にご紹介します。

司会： 大場みち子（日本学術会議第三部会員／京都橘大学デジタルメディア学部教授）

10:00 開会挨拶

喜連川優（日本学術会議連携会員／大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長／東京大学特別教授）

10:10 AI for Scienceの現在地—研究分野横断の動向とNIIの取り組み

相澤 彰子（日本学術会議連携会員／国立情報学研究所副所長・コンテンツ科学研究系教授）

10:30 大規模言語モデルの原理解明

大関 洋平（東京大学大学院総合文化研究科准教授／国立情報学研究所特任准教授）

10:50 生成AI時代の教育（仮題）

白井 克彦（早稲田大学理工学院名誉教授）

11:10 大学教育における生成AI活用の現在地—教員アンケートから見える実践と課題

田浦 健次朗（日本学術会議会員／東京大学執行役・副学長）

11:30 競技プログラミングと生成AI

岩田 陽一（AtCoder株式会社）

11:50 生成AIと産業（仮題）

井尻 善久（SBIntuitions 株式会社取締役兼 CRO）

11:50 <休憩>

15:20 パネル討議『生成AIのさらなる展開：人間・社会・産業をどう設計するか』

モデレータ：喜連川優

パネリスト：相澤 彰子、大関 洋平、白井 克彦、田浦 健次朗、岩田 陽一、隠岐 さや香、伊藤 孝行、山田 八千子、灘本 明代、高倉 弘喜

17:00 閉会挨拶

相澤 清晴（日本学術会議連携会員／東京大学情報基盤センター特任教授／東京理科大総合研究院教授、京都橘大学デジタルメディア学部教授）

13:20 印刷術×資本主義の過去から、生成AI×気候変動の時代を考える

隠岐 さや香（日本学術会議連携会員／東京大学大学院教育学研究科教授）

13:40 AIエージェントによる合意形成と異文化ファシリテーション

伊藤 孝行（日本学術会議連携会員／京都大学大学院情報学研究科教授）

14:00 AIガバナンスのあり方—法制度と政策形成の関係をめぐって

山田 八千子（日本学術会議第一部会員／中央大学法科大学院教授・弁護士）

14:20 AIは人を笑わせられるか？—生成AIによるユーモア生成と笑いの科学

灘本 明代（日本学術会議連携会員／甲南大学知能情報学部教授）

14:40 自動化されたサイバー攻撃を前提とするAI活用防御

高倉 弘喜（国立情報学研究所ストラテジックサイバーレジリエンス研究開発センター長・教授）

14:40 <休憩>

脳と生成AI

日時 2026年9月26日 ㊦ 10:00～16:00

会場 日本学術会議講堂
(東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅下車 5番出口徒歩1分)
後日収録したものをオンデマンド配信予定

主催 日本学術会議 基礎医学委員会 神経科学分科会
臨床医学委員会 脳とところ分科会

共催 特定非営利活動法人脳の世紀推進会議
公益財団法人ブレインサイエンス振興財団
国立研究開発法人理化学研究所脳神経科学研究センター

後援 日本脳科学関連学会連合(協賛)

10:00～10:10 **開会挨拶** 柚崎 通介 (日本学術会議第二部会員/慶應義塾大学 ヒト生物学－微生物叢－量子計算研究センター 特任教授)
水澤 英洋 (脳の世紀推進会議 理事長/日本ゲノム医療推進機構 機構長/国立精神・神経医療研究センター 名誉理事長)

10:10～11:10 **特別講演「脳と人工知能－二つの知能システム」**
甘利 俊一 (帝京大学 先端総合研究機構 特任教授)
司会: 川人 光男 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所 所長)

11:15～11:55 **「脳を知る」分野講演「脳の理解と生成AIの診断」**
渡部 喬光 (東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構 教授)
司会: 加藤 忠史 (日本学術会議連携会員/順天堂大学 医学部 教授)

11:55～13:00 休憩
ビデオレター放映「高校生時に世界脳週間イベントあるいは脳科学オリンピックに参加した体験記」

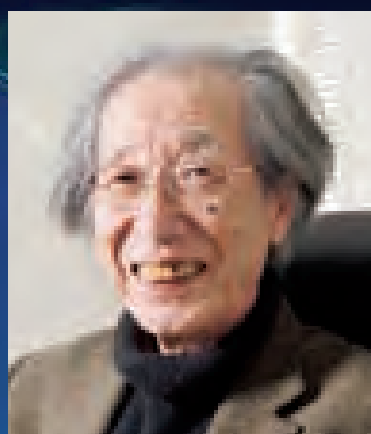
13:00～13:40 **「脳を守る」分野講演「神経発達症におけるメルトダウンの神経回路：脳を守る介入開発をめざして」**
林(高木) 朗子 (日本学術会議連携会員/理化学研究所 脳神経科学研究センター チームディレクター)
司会: 池田 和隆 (日本学術会議連携会員/東京都医学総合研究所 参事研究員/国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 部長)

13:40～14:20 **「脳を創る」分野講演「脳とAIの生成モデル：予測と行動の神経回路」**
銅谷 賢治 (沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット 教授)
司会: 藤山 文乃 (日本学術会議連携会員/北海道大学 大学院医学研究院 教授)

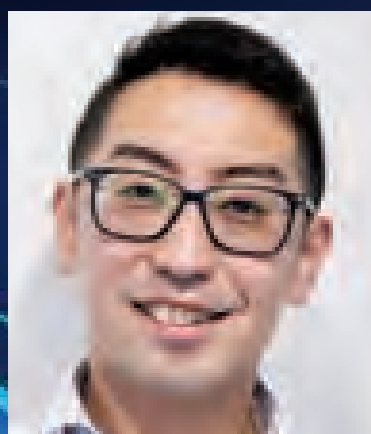
14:20～15:00 **「脳を育む」分野講演「脳・身体・環境が育む認知機能の発達と多様性」**
長井 志江 (東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任教授)
司会: 吉峰 俊樹 (医療法人医誠会国際総合病院 名誉院長)

15:10～15:50 **パネルディスカッション**
モデレータ: 伊佐 正 (日本学術会議連携会員/脳の世紀推進会議 副理事長/自然科学研究機構 生理学研究所 所長)
柚崎 通介 (日本学術会議第二部会員/慶應義塾大学 ヒト生物学－微生物叢－量子計算研究センター 特任教授)

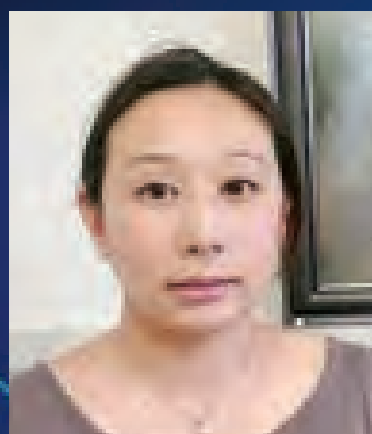
15:50～16:00 **閉会挨拶** 大隅 典子 (脳の世紀推進会議 副理事長/日本学術振興会 理事)



甘利 俊一



渡部 喬光



林(高木) 朗子



銅谷 賢治



長井 志江

参加申込 開始8月5日(水)～

右のQRよりホームページにアクセスし、フォームからお申し込みください。

申込み・お問合せ

脳の世紀推進会議事務局 (株)コナ・オフィス 内
TEL: 080-9281-6902 E-mail: brain.konaoffice@gmail.com



観光・科学・野生動物保全をつなぐ The Tourist Scientist Project の挑戦

観光客の活動を、科学と保全の力へ

一般公開・参加無料

日時	2026 年 9 月 26 日（土） 13:00～16:30（12:30 開場）
会場	東京大学農学部 中島董一郎記念ホール（東京都文京区弥生 1-1-1）
	← 当日参加も可能ですが、できるだけ事前登録をお願いします 講演者への質問や、総合討論で取り上げて欲しい質問・話題はこちらから

このシンポジウムで考えること

野生動物保全に必要なデータ・資金・人材が不足する一方、自然保護地域には多くの観光客が訪れています。観光客を単なる消費者ではなく、科学研究や自然保全の担い手としてとらえる「ツーリスト・サイエンティスト・プロジェクト」の可能性を紹介します。ケニアの保全現場、西アフリカの事例、日本における市民参加型の観察研究を通して、観光客の力を生かしながら、観光・科学・地域社会・保全をつなぐ新たな可能性を考えます。

主 催：日本学術会議統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同ワイルドライフサイエンス分科会、
環境政策・環境計画分科会、自然環境分科会

共 催：科学研究費 国際共同研究加速基金(海外連携研究)「民間保護区と公的博物館の連携による野生動物保全手法の創発」（23KK0198）

お問い合わせ: 実行委員会 be.touristscientist@gmail.com

PROGRAM

13:00	開会挨拶・趣旨説明	松本 晶子（日本学術会議連携会員／ 琉球大学国際地域創造学部教授）
13:15	OECD をめぐる国際的議論と地域の保全現場 からの経験・教訓の共有	香坂 玲（日本学術会議連携会員／東京 大学大学院農学生命科学研究科教授）
13:35	People Powering Conservation: Scientists and the Public Together Can Transform Our Understanding of the Natural World （保全を動かす人々：科学者と市民の協働が 自然界への理解を変える）	Prof. Daniel I. Rubenstein（Class of 1877 Professor of Zoology, Emeritus） ／同時通訳
14:15	衛星データから見る野生動物と自然環境： 市民参加による観察の可能性	祖父江 侑紀（奈良女子大学理学部 助教）
14:35	休憩（20 分）	
14:55	From Safari Tourism to Biodiversity Stewardship: Kenya's Community Conservancy Model （サファリ観光から「自然の守り手」へ： ケニアが進める地域共生型の保護モデル）	Dr. Mohanjeet Brar（Managing Director of Gamewatchers Safaris and Porini Camps）／同時通訳
15:35	ギニアの精霊の森におけるチンパンジー保全 ：野生動物保全の文化観光としての可能性	山越 言（日本学術会議連携会員／京都 大学大学院アジア・アフリカ地域研究 研究科教授）
15:55	総合討論 観光はどのように野生動物保全に貢献できるか	司会：松本 晶子 討論者：大沼 あゆみ（日本学術会議連 携会員／城西大学経済学部特任教授・ 慶應義塾大学名誉教授）、安田仁奈 （日本学術会議連携会員／東京大学大 学院農学生命科学研究科教授）、講演 者全員
16:25	閉会挨拶	香坂 玲
16:30	閉会	

日本学術会議公開シンポジウム

「農学が創る未来：緑の革命3.0」

2026年9月26日(土)13時～

参加費無料

日本学術会議6A会議室[ハイブリッド開催]

【主催】日本学術会議農学委員会・食料科学委員会

【後援(予定)】一般社団法人日本農学会、公益財団法人農学会、日本農学アカデミー、日本昆虫科学連合、日本植物保護科学連合、農業経済学関連学会協議会、公益社団法人日本獣医師会、水産・海洋科学研究連絡協議会、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、国立研究開発法人国際農林水産業研究センター、国立研究開発法人森林研究・整備機構、国立研究開発法人水産研究・教育機構、全国農学系学部長会議、国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科

本シンポジウムでは、20世紀に急成長した人類の食を支えた農学の成果を確認するとともに、最先端科学で解明されつつある「生物資源」(作物、森林、家畜、海洋生物、藻類、微生物など)や「生態系サービス」(酸素供給、炭素固定、水循環、気候調節、土壌形成、遺伝資源、病虫害制御、作物の花粉媒介など)の実態と活用の可能性を紹介し、未来の農学が21世紀における地球環境と調和した次世代の食料システムの構築、バイオマテリアル利用、自然再興活動等をいかに進めうるかを展望する。そして、人類の生活圏、経済圏が再生可能なバイオリソースで支えられる領域の拡大を目指す真に持続可能で健康な社会へのトランスフォーメーション「緑の革命3.0」の構想づくり、さらに多様で分散型の社会を志向するパラダイムシフトや、人と自然との共生社会を実現する産業革新・創造の提案の意義にも言及する。あわせてそれらに係わる農学教育研究のあり方についても議論を行うこととする。

【プログラム】

司会：磯部 祥子(日本学術会議第二部会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

13:00 開会挨拶

高山 弘太郎(日本学術会議第二部会員、豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授/愛媛大学大学院農学研究科教授)

■農学150年の成果と今後の展望(第一部)

13:10 第1報告「農学150年の振り返り」

中嶋 康博(日本学術会議第二部会員、日本栄養大学栄養学部教授)

■農学が創造する社会と産業に向けた課題(第二部)

13:30 第2報告「生産農学領域の課題」

下野 裕之(日本学術会議連携会員、岩手大学農学部教授・次世代アグリノバージョン研究センターセンター長)

13:50 第3報告「森林科学領域の課題」

伊藤 昭彦(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

14:10 第4報告「農業工学領域の課題」

後藤 英司(日本学術会議第二部会員、千葉大学大学院園芸学研究院特任教授)

14:30 第5報告「水産学領域の課題」

大越 和加(日本学術会議第二部会員、東北大学名誉教授)

14:50 第6報告「畜産学領域の課題」

後藤 貴文(日本学術会議連携会員、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授)

15:10 第7報告「獣医学領域の課題」

堀 正敏(日本学術会議第二部会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

15:30 第8報告「農芸化学領域の課題」

千葉 一裕(日本学術会議連携会員、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構理事長)

《20分休憩》

■農学教育研究の未来(第三部)

16:10 第9報告「農研機構の挑戦」

中畝 良二(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構企画戦略本部長)

16:30 第10報告「農学教育の課題」

東原 和成(日本学術会議連携会員、全国農学系学部長会議会長、東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長・教授)

16:50 総合討論

17:25 閉会挨拶

渡辺 京子(日本学術会議第二部会員、玉川大学農学部教授)



会場かオンラインかを登録いただけます。オンラインの場合、参加用URLをメールでお送りします。会場参加については、席数の関係でお断りする場合があることをご了承ください。

【問い合わせ】

東京大学大学院農学生命科学研究科アグリコーン(AGRICORN)

TEL: 03-5841-8882 / FAX: 03-5841-8883

mail: office@agc.a.u-tokyo.ac.jp

<https://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/wp/260926-1/>

サイエンスと アートが 拓く

新たな

—教育・共創・デジタル技術の最前線—

2026

9.27日 13:00 ~ 17:00

京都大学国際科学イノベーション棟
HORIBAシンポジウムホール

本サイエンスとアートの交錯が、教育、研究、表現、社会とのコミュニケーションのあり方を捉え直す契機として注目されている。両者が出会い、対話することによって、既存の専門分野の枠を越えた知の形成や、新たな教育・研究の可能性がひらかれつつある。また、デジタル技術の発展は、知識や文化資源の記録、可視化、共有、体験の方法を大きく変化させている。

本講演会では、サイエンス、アート、デザイン、デジタル技術に関わる多様な教育・研究・実践を取り上げる。新たな教育組織の展開、科学者とアーティストをはじめとする異分野間の対話と共創、文化資源や体験をひらくデジタル技術の可能性などを通じて、知がどのようにつくられ、共有され、社会や未来へとつながっていくのかを考える。そこから生まれる新たな知の可能性を探るとともに、サイエンスとアートの交錯から生まれる教育、研究、社会連携の今後のあり方を展望する。

主催 日本学術会議近畿地区会議
京都大学

日本学術会議
近畿地区会議
学術講演会

事前参加
申込制
どなたでもご参加
いただけます。

参加費
無料

ハイブリッド
開催

【開会挨拶】

主催者代表 三枝 信子

(日本学術会議副会長・第三部会員、国立研究開発法人国立環境研究所理事)

主催者代表 時任 宣博

(京都大学副学長、京都大学国際融合教育研究推進センター長)

【趣旨説明】

中村 征樹

(日本学術会議第一部会員、大阪大学全学教育推進機構教授)

【講演】

講演1 「好き」が未来を動かす

—京都橘大学デジタルメディア学部が目指す新しい学び—
大場 みち子

(日本学術会議第三部会員、京都橘大学デジタルメディア学部教授・学部長)

講演2 立命館大学デザイン・アート学部の展開

赤間 亮 (立命館大学デザイン・アート学部教授・学部長)

講演3 科学者とアーティストが交流する
プラットフォーム

—ファンダメンタルズという試み—

坪井 あや (ファンダメンタルズ プログラム代表)

講演4 ファンダメンタルズの実践

—アーティストと科学者の共創から見えてきた

異分野融合のヒント—

杉井 学 (山口大学国際総合科学部教授)

岩泉 慧 (京都芸術大学美術工芸学科准教授)

講演5 文化の記憶を未来へ。

目指すのは「タイムマシーン」×「どこでもドア」

大井 将生 (同志社大学文化情報学部准教授)

講演6 体験の共有と知の共創のための
バーチャリアリティ

鳴海 拓志 (東京大学大学院情報理工学系研究科教授)

【パネルディスカッション】

講演者らによるパネルディスカッション

コーディネーター:

中村 征樹 / 矢野 桂司

【全体総括】

矢野 桂司 (日本学術会議第一部会員、立命館大学文学部教授)

【総司会】

村山 美穂 (日本学術会議第二部会員、京都大学野生動物研究センター教授)

参加申込方法

参加を希望される方は、9月23日(水) 23:59

までに下記URLまたはQRコードより

事前申込をお願いいたします。

(対面・オンライン参加共通)

<https://forms.gle/RJWbUANDtq5sPPTN7>



お問合せ先

日本学術会議近畿地区会議事務局

(京都大学総合研究推進本部内)

[Tel] 075-753-5586 [Fax] 075-753-2042

[E-mail] scj-kinki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

【サービス化社会における共創価値尺度】

■ 開催趣旨

日本学術会議の価値共創社会に資するサービス研究体系検討のための分科会（略称：サービス学分科会）では、2026年9月4日に見解「サービス化社会における共創価値の尺度について」を発出いたしました。

サービス化社会とは、製品を売るだけでなく、製品・データ・サービスズ（無形財としてのサービス）がネットワークを通じて、資源を統合し、提供者と利用者の区別なくともに価値を創り上げる活動が中心となる社会です。ここでは、生活者・企業団体・行政などが価値の創出に参加します。このような社会の変化を明確化・可視化する方向性を示すことが本見解の目的です。

本シンポジウムでは、サービス化社会を俯瞰し、共創によって産み出される価値を測る、可視化する、開示して共有することを目指した学術界からの提言（見解）に向けた議論をご紹介します。さらに、サービスと関係する異分野の学術研究者、企業関係者、ポリシーメーカーを交えたパネルディスカッションを通じて、多角的な視点から議論を深めます。

是非ともご参加いただき、皆様からのご意見をいただきたく存じます。

開催概要

日 時 2026年9月27日(日)
13:00～15:30

場 所 明治大学駿河台キャンパス
グローバルフロント1F多目的室
（対面と遠隔配信のハイブリッド）

参加費 無料

定 員 160名

申込期限 2026年9月25日（金）
定員に達し次第受付終了

参加申し込み

以下のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/zAhnA1C2BatBLZNr5>



※申込締切：
2026年9月25日（金）

主催・後援

主催：価値共創社会に資するサービス研究体系検討のための分科会

後援：（50音順）経営関連学会協議会 / サービス学会 / 日本感性工学会 / 日本消費者行動研究学会 / 日本マーケティング・サイエンス学会 / 明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科

PROGRAM

13:00 - 13:10

【開会挨拶】

13:10 - 14:10

【第1部】 見解：「サービス化社会における共創価値の尺度について」

◆『価値共創を基盤とするサービス化社会』

戸谷 圭子（日本学術会議第一部会員、明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科教授）

◆『共創価値の工学的測定方法の現状と社会実装に向けた提言』

持丸 正明（日本学術会議連携会員、産業技術総合研究所フェロー）

14:10 - 14:20

【休憩】

14:20 - 15:30

【第2部】 パネルディスカッション

モデレーター

持丸 正明（日本学術会議連携会員、産業技術総合研究所フェロー）

パネリスト

戸谷 圭子（日本学術会議第一部会員、明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科教授）

西村 訓弘（日本学術会議連携会員、三重大学大学院地域イノベーション学研究科教授・特命副学長（戦略企画担当）／宇都宮大学大学院教授・特命副学長）

和氣 純子（日本学術会議第一部会員、東京都立大学大学院人文科学研究科教授）

瀬木 英俊（ロート製薬株式会社 代表取締役社長）

会場アクセス

明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント1F
多目的室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1



- ・JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」下車 徒歩約3分
- ・東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」下車 徒歩約3分
- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」下車 徒歩約5分



お問い合わせ先

日本学術会議 サービス学分会イベント事務局

Email: M-service-symposium-scj-ml@aist.go.jp



日本学術会議 公開シンポジウム

フューチャー・アースの推進と連携：Future Earth Japan Report 2026 へ向けた学術的課題の個別・横断的な整理

日時：2026年9月27日（日）：13:00～16:00

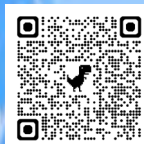
主催：日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会、フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会地球環境変化の人間側面分科会、フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 SDGs の進捗評価分科会、環境学委員会・地球惑星科学委員会
合同 FE・WCRP 合同分科会

後援：フューチャー・アース日本委員会、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所（予定）

場所：オンライン開催（ZOOM）

申込：参加申込 をクリック、または右の QR コードから 9 月 23 日までにお申込みください。
定員 300 名、参加費無料、会議当日までに ZOOM の URL をお送りします。

問い合わせ：山下 潤（九州大学、scjhd2015@gmail.com）



人新世における複雑に絡み合った地球環境問題の解決に向けて、2015 年にフューチャー・アースが本格始動し、10 年が経過しました。本シンポジウムでは、日本における学術的課題を、専門性と学際性、長期的なビジョンと短期的な目標の設定、多様な社会との連携の可視化の視点から個別・横断的に整理し、2030 年の SDGs の先と Well-being を見据えた地球環境問題の解決について議論します。

総司会：近藤 康久（日本学術会議連携会員／大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授）

13:00～13:05 開会のあいさつ

沖 大幹（日本学術会議第三部会員／東京大学大学院工学系研究科教授）

【第1部】フューチャー・アースの成果

13:05～13:25 「専門性と学際性」

金谷 有剛（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境研究部門地球表層システム研究センターセンター長）

13:25～13:45 「長期的なビジョンだけではなく、短期的な目標の設定」

吉川 成美（日本学術会議連携会員（特任）／大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所上廣環境日本学センター・センター長・特任教授）

13:45～14:05 「多様な社会との連携の可視化」

山下 潤（日本学術会議連携会員／九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

【第2部】フューチャー・アースの展開

14:05～14:35 「フューチャー・アースの将来的課題」

安成 哲三（大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所顧問・名誉教授）

休憩 14:35～14:45

【第3部】パネルディスカッション

14:45～15:55

モデレーター：

谷口 真人（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所教授）

パネリスト：

江守 正多（日本学術会議連携会員／東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立研究開発法人国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員）

金谷 有剛（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境研究部門地球表層システム研究センターセンター長）

蟹江 憲史（日本学術会議連携会員／慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

亀山 康子（日本学術会議連携会員／東京大学大学院新領域創成科学研究科付属サステナブル社会デザインセンター教授）

岸本 充生（日本学術会議連携会員／大阪大学 D3 センター教授/社会技術共創研究センター長）

安成 哲三（大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所顧問・名誉教授）

山下 潤（日本学術会議連携会員／九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

吉川 成美（日本学術会議連携会員（特任）／総合地球環境学研究所上廣環境日本学センター・センター長・特任教授）

15:55～16:00 閉会のあいさつ

浅利 美鈴（日本学術会議連携会員／大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授）

生命科学データの オープンな流通・活用の 再構築

— AI時代のデータ共有とガバナンスを考える —

参加
無料

2026年9月27日(日) 13:00~18:00

 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木7-22-34)

 ZOOMによるオンライン同時開催



ゲノム、タンパク質構造、医療情報、バイオイメージングなど多様な生命科学データは、重要な研究基盤です。これらのオープンな流通・活用には、個人情報保護、国際的利益配分、産業競争力、データ維持問題など、新たな課題が生まれています。さらにAIの存在がこれらの課題を拡大し複雑化しています。本シンポジウムでは、現在、取りまとめている提言の議論を出発点に、AI時代にふさわしいデータ共有とガバナンスのあり方を、多様な立場から考えます。

スケジュール

- 13:00~13:05 開会挨拶・趣旨説明
諏訪 牧子 (連携会員/青山学院大学 理工学部)
- 13:05~13:25 特別講演①
中田 栄介 (文部科学省 ライフサイエンス課課長)
- 13:25~14:00 特別講演②
相澤 彰子 (連携会員/情報・システム研究機構 国立情報学研究所)
AIエージェントと知識統合によるデータの流通・活用
- 14:10~15:40 第一部
- 15:45~17:15 第二部
- 17:25~18:00 パネルディスカッション
モデレータ: 有田 正規 (連携会員/情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所)
- 18:00~18:05 閉会挨拶
上田 昌宏 (連携会員/大阪大学 大学院生命機能研究科)

※時間は目安です。進行により前後する場合があります。

第一部 14:10~15:40 — 多様な生命データのケーススタディ —

- | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|
|  | 社会インフラとしてのバイオバンクにおけるデータガバナンスの現状と課題 | 木下 賢吾
東北大学
情報科学研究科 |
|  | 生物資源の現状とあるべき姿、特にDSI問題について | 鈴木 睦昭
特任連携会員/情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 |
|  | メタゲノムデータの価値と産業利用の未来 | 山田 拓司
東京科学大学 生命工学部 / (株) メタジェン |

第二部 15:45~17:15 — データの流通・活用を支える技術基盤 —

- | | | |
|---|-----------------------------------|-------------------------------|
|  | タンパク質構造データのオープンな利活用維持と今後の課題 | 栗栖 源嗣
大阪大学 蛋白質研究所 |
|  | バイオイメージングデータのオープン化への現状と今後の在り方 | 永井 健治
連携会員/大阪大学 産業科学研究所 |
|  | AIに対応するデータベースの在り方とデータ統合・解析基盤の技術開発 | 片山 俊明
情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 |

17:25~18:00 パネルディスカッション パネリスト: 講演者全員

主催

統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同・バイオインフォマティクス分科会・生物物理分科会・IUPAB分科会・遺伝資源分科会・ゲノム科学分科会
諏訪 牧子 (青山学院大学 理工学部) 上田 昌宏 (大阪大学大学院生命機能研究科) 有田 正規 (情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所)

世話人

参加無料

最新情報・参加申込はこちら



公認心理師の 国家的活用の在り方

～ 職域の拡大と技量向上の責務 ～

公認心理師法附則第5条に基づく対応に対する
現状と課題を検討します

日 時

2026年 9 月 27 日 (日)
13:15 ～ 15:15

会 場

サンシャインシティ 会議室
第7会場

東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ文化会館ビル5F
特別ホール501号室

主催

日本学術会議 心理学・教育学委員会・社会学委員会・法学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
心身の健康・適応に対する心理学的支援分科会



保健・医療



福祉



教育



司法・犯罪



産業・労働

登壇者

企画趣旨

嶋田 洋徳

日本学術会議 第一部会員
(一社)日本認知・行動療法学会 理事
早稲田大学人間科学学術院 教授

司会

佐藤 徳

日本学術会議 連携会員
富山大学人文学部 教授

田上 明日香 (産業・労働分野)

早稲田大学人間科学学術院 准教授

話題提供

熊野 宏昭 (保健医療分野)

日本学術会議 連携会員
早稲田大学人間科学学術院 教授

下山 真衣 (福祉分野)

信州大学学術研究院教育学系 准教授

古川 洋和

鳴門教育大学大学院心理臨床コース 准教授
公認心理師養成大学教員連絡協議会 事務局長

金子 周平

日本心理学諸学会連合 副理事長
九州大学大学院人間環境学研究院 准教授

指定討論

戸ヶ崎 泰子 (教育分野)

(一社)日本認知・行動療法学会 副理事長
宮崎大学大学院教育学研究科 教授

浅野 倫子

東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

フロア参加者

佐々木 淳 (日本学術会議 連携会員 / 大阪大学大学院人間科学研究科 教授)

西中 宏吏 ((一社)日本認知・行動療法学会 公認心理師対応委員会 / 早稲田大学人間科学学術院 講師) (司法・犯罪分野)

主催

日本学術会議

心理学・教育学委員会・社会学委員会・法学委員会・
臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
心身の健康・適応に対する心理学的支援分科会

共催

一般社団法人

日本認知・行動療法学会



最新情報・詳細は
こちら

心理の専門性を、社会のあらゆる場へ。